

山梨平和ミュージアム—石橋湛山記念館

「伝えたい戦争の記録・記憶を」の市民の声を結集し、2007年5月に開館した民間の博物館です。前身の市民団体「山梨県戦争遺跡ネットワーク」の10年間の調査や資料収集を経て、約800人の市民の賛同金で設立しました。

1階は戦争と平和がテーマ。1945年7月の甲府空襲について、亡くなった1127人全員の名前を記載したパネル、元日航機長・諸星廣夫氏と米軍B29飛行士との交流で明らかになった実態や歴史を伝えています。スペイン・ゲルニカや中国・重慶などでの戦略爆撃の歴史や、フィリピン・レイテ戦でほぼ全滅した甲府連隊の歴史も紹介。当時の教科書やパネルなどで戦時下の教育や暮らしぶりを示すコーナーもあります。2階は、山梨県で育った石橋湛山（1884～1973年）の生涯と思想を展示する全国唯一の記念館。東洋経済新報社の記者・言論人として、大正から昭和の戦時下、平和・民権・自由主義を唱え、戦後は首相になった歩みを写真や実物資料で振り返っています。

2千冊以上の図書と200点以上のビデオを所蔵。市民提供資料が並ぶ「私の展示コーナー」も設けています。また、戦争体験者の証言や、戦争と平和に関する講演会などの講座を毎月開き、半年ごとに企画展（現在、「戦後80年、歴史と今を考える」）を開催しています。体験者や学習者が記録などを持ち寄る市民参加型の「平和の港」となるよう、学習、発見、交流を広げています。小・中・高校生の学習の場としても最適です。

住所 甲府市朝気1の1の30

電話 055-235-5659

ホームページ <http://ypm-japan.jp/>

休館日 火曜、水曜、祝日

入館料 大人 300円 中高大生 200円 小学生以下 無料

1階 甲府空襲の展示



2階 石橋湛山の展示

